

データでみる福島再生

最近の動き

○特定復興再生拠点区域の進捗状況

- 原子力災害対策本部決定により以下のとおり避難指示が解除されることとなりました。

令和2年3月 4日解除 双葉町の避難指示解除準備区域(中野・浜野・両竹地区)及び帰還困難区域の一部(双葉駅周辺)

令和2年3月 5日解除 大熊町の帰還困難区域の一部(大野駅周辺)

令和2年3月10日解除 富岡町の帰還困難区域の一部(夜ノ森駅周辺)

○福島県内の除染仮置場等の状況

- 仮置場等総数1,345箇所のうち、642箇所ですべて除去土壌等を保管中、703箇所ですべて搬出が完了し、411箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- 2月27日、双葉町の仮設焼却施設及び仮設灰処理施設の火入れ式を実施しました。
- 除去土壌の分別処理を行い、2月末時点で、約324万 m^3 (輸送量ベース)の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- 2月末時点で、累積約629.6万 m^3 (全体の約45%)の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。
- 2月26日、広野町に保管されていた全ての除去土壌等について、中間貯蔵施設への輸送が完了しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- 用地取得については、2月末時点で契約者数1,752人、面積約1,157haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- 災害廃棄物等の仮置場への搬入については、1月末時点で、約255万トンの搬入を完了しました(うち、約45万トンが焼却処理済、約158万トンが再生利用済)。
- 被災家屋等について、1月末時点で、約16,600件の解体撤去申請を受付済みであり、約14,200件を解体撤去済みです。

○**国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況**

- ・ 1月末時点で、約109万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○**特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況**

- ・ 2月末時点で、113,746袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況**

- ・ 相談員支援センターで11件、環境再生プラザで15件、その他で12件の活動実施しました。